

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ	
-----------	--

② 施設・事業所情報

名称：笹下保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：五十嵐 樹	定員（利用人数）： 100名（利用者99名）	
所在地：〒233-0003 横浜市港南区港南6-2-8		
TEL：045-843-5420	ホームページ： http://aragusakai.sakura.ne.jp/sasage/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人あらぐさ会		
職員数	常勤職員：24名 非常勤職員：16名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 24名 栄養士 3名	
	看護師 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 7室	屋外・園庭
	トイレ 4	
	調理室・厨房 1	
事務室 1		

③ 理念・基本方針

<p>《保育理念》</p> <p>〇私たちは憲法と児童福祉法に基づき子どもたちが健やかに育つ権利を守り保護者と力を合わせてより良い保育を進めていきます</p> <p>〇私たちは子どもたちがのびのびと生活し登園が待ち遠しくなるような魅力ある保育園づくりをめざします</p> <p>〇私たちはお父さんお母さんが安心して働けるように支援し地域の子育てに貢献します</p> <p>《保育方針》</p> <p>子どもの発達に見合った生活の中で、人への信頼感を育て、情緒の安定を図ります</p> <p>子どもを取り巻く大人、友だち、自然とのかかわりの中で、主体的な活動・遊びを大切にします</p> <p>地域における子育て支援の役割を担い、地域社会との連携を大切にします</p>

④施設・事業所の特徴的な取組

平成27年に横浜市から移管し、社会福祉法人の運営となりました。移管から8年を経て、保護者とも良好な関係を維持しています。法人内の他の2園とは連携を取りつつも、それぞれ立地や背景などを踏まえて、独自の展開を続けてきました。

職員は途中で採用され、移管以降は継続して勤務している職員が多く、それぞれが経験を擦り合わせながら「笹下保育園の保育」を作ってきました。〇〇をやっているというような取り組みはありませんが、ひとつひとつを丁寧に調整し、真剣に検討しながら進めています。

保育士になってからも経験や実践を積んで成長できるように、保育士の育成には組織として取り組み、メンタルや健康の管理は、看護師が中心になって実施し、「保育する力」は、主任が中心になって引き上げています。

最も大切にしていることは、一人ひとりの子どもの個性を尊重し、思いを大切にすることです。そのためにはパートタイム職員や掃除洗濯などを行う職員も多く、ゆったりと子どもと接することができるだけの保育士が確保されています。

障害児の受け入れも多いのも特徴ではありますが、保育士が障害特性を理解し、環境や配慮をしながら統合保育を行っています。クラスの子どもたちも優しく接したり、手伝ったり、教えたり、様々なことを学んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年7月15日（契約日）～ 令和5年2月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 子どもの発達に応じた環境設定を工夫しています

子どもの成長を助けるために環境や日常活動などの改善を積極的に行っています。子どもが基本的な生活習慣を身につけやすくするために、年齢別の部屋の位置を変更して、園庭での活動やトイレトレーニングを進めやすい環境にするなど工夫しています。子どもが穏やかに成長できる環境を整えています。

2) 園としての理念・方針を確立し、保護者から評価されています

民間移管により公立園から引き継ぎ、法人の理念のもと、笹下保育園として取り組んできたことが醸成されてきています。移管前の園から引き継いだ保育目標も大切にしながら活動してきたことが保護者からも評価され、安心や感謝につながっています。職員体制を整え、職員一人ひとりが運営に積極的にかかわられるよう配慮しています。公立園からの実践と経験が職員の自信につながり、職員の保育への意欲につながっています。

3) 法人理念をもとに保護者の支援を行っています

園は保護者支援を理念として、障害を持つ子どもも継続的に受け入れたり、延長保育での変更に対応するなど、保護者が安心して子育てできるように配慮しています。子どもだけでなく子どもに影響を及ぼす家庭環境についても園長、主任、看護師や栄養士が相談に乗り、保護者を支援しています。登降園時は保護者がクラスに出入りできるようにして、子どもの様子を知り、職員と情報共有できるように配慮しています。

4) 健康管理と保育活動とが連携する仕組みづくりが期待されます

園では常勤の看護師等が子どもの健康管理を担当し、定期的に健康診断や歯科健診を行っています。毎日の健康チェックや毎月の身体測定、視聴覚検査、体調不調時の連

絡など保護者から高い評価を得ています。園ではこの健康管理の情報を保育の中にどのように生かすかを課題として取り組んでいます。健康情報を保育活動に生かす仕組みを作り、保育と健康管理とを連携させる取組が期待されます。

5)職員のキャリア確立に向けて、さらなる支援が期待されます

「期待する職員像」を保育姿勢として明記して、職員は課題についても自ら取り組む姿勢を持っています。保育士以外の職員体制も整えて業務調整し、研修受講などの機会が確保されています。他の職員との共有やコミュニケーションを高めて成長し、職員自らが将来像を描きやすいよう必要な知識・技術の明確化と目標管理による支援が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

短い時間ではありましたが、園の様子をご覧いただきありがとうございました。園運営について、単に項目を追うだけでなく様々な視点でヒントを頂き、総評に記された事柄以外にもたくさんの気づきを得ることができました。特に、コロナ禍や職員のメンタルヘルスでは看護師の役割は大きく、今後も連携して取り組んでいきたいと考えます。常に保育を振り返りながら、子どもを中心に、職員、保護者が協力して、楽しい保育園作りを引き続き目指していきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり